

〈特集〉



EICA 未来プロジェクト活動報告

中原 政 人

日新電機(株)

(〒 530-6129 大阪市北区中之島 3 丁目 3 番地 23 号 E-mail: Nakahara_Masato@nissin.co.jp)

キーワード：未来プロジェクト

原稿受付 2011.5.9

EICA: 16(1) 32

1. 未来 Pr 活動報告

1.1 未来 Pr に参加して

未来プロジェクトの参加案内から2年が経過しました。私は第4期の活動に参加させて頂きました。

この活動に興味を持ったのが若手技術者・研究者が産・官・学の組織の枠組みを越えた交流があるというところでした。もちろんセミナー終了後の交流会が楽しかったというのも参加動機ではありましたが。

私は水分野である浄水場及び下水処理場向けの電気設備の営業技術を担当しており、日常の業務では接することがほとんどない大学の方などと交流をもてるところがこの活動の魅力のひとつでもありました。

活動の中でサステナビリティをテーマに、各分野でご活躍の先輩方にご講演を頂きましたが、特に印象的だったのが、東京大学の沖大幹先生のバーチャルウォーターについてのお話でした。自身の仕事内容が関連していることもありますが、蛇口をひねればいつでも水を飲むことが出来る水資源が豊富な日本が、間接的とはいえ世界一水を輸入していることになるというのはとても衝撃的でした。

また、各チームに分かれての研究発表会の発表では、発表内容を議論するのに、我々のチームはメンバーが



沖 大幹先生 (東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門 教授)

関東と関西とで分かれていた為、夜中までメールのやりとりで議論を繰り返したことがとても印象深く残っており、非常に良い経験が出来たと思います。



1.2 今後について

現在携わっている水事業ですが、近年の公共事業費の削減と今後増加していく耐用年数を経過した設備を如何にして効率よく更新し、最適な維持管理を行っていくかが重要となっており、産・官・学の組織の連携が大切であると言われていたのですが、実際の実務レベルのところではそういった取り組みがなかなか出来ていないように思えます。

今回の EICA の未来 Pr は、第5期で終了するかたちとなりましたが、今後も未来 Pr に参加した方々やその関係者などで交流を行い、環境問題をはじめとする様々な事について議論し、身近に出来る活動から始めることにより、実際の仕事でも産・官・学組織の枠組みを越えて、今後の社会をより良く持続して行く取り組みが出来ると思います。

最後になりますが第1期から第5期までご講演を頂きました多くの先輩方ならびに EICA の関係者の方々に御礼を申し上げます。